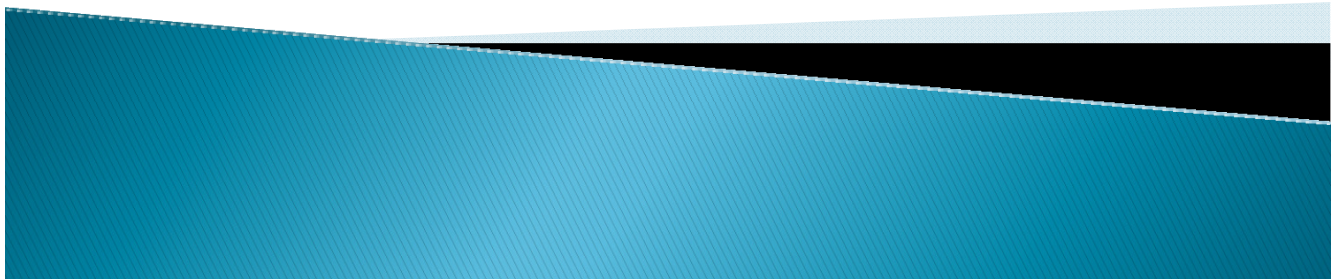
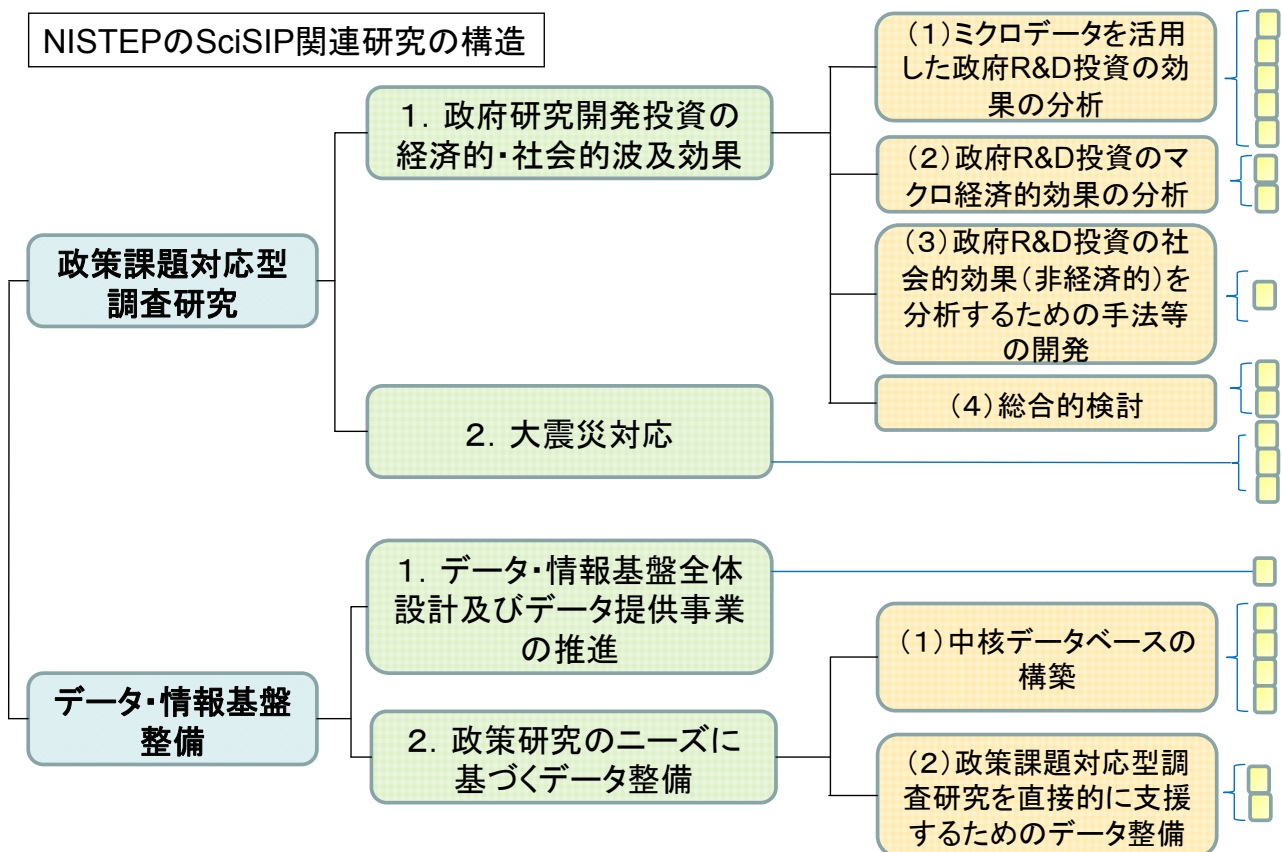


NISTEPにおける「政策のための科学」調査研究の進捗状況

科学技術政策研究所



NISTEPのSciSIP関連研究の構造



政策課題対応型調査研究の各課題

1. 政府研究開発投資の経済的・社会的波及効果	(1) ミクロデータを活用した政府R&D投資の効果分析	①無形資産・イノベーション・生産性に関するミクロデータ分析
		②イノベーション調査－第2回調査のフォローアップと第3回調査の実施
		③特定分野・特定領域・個別政策等におけるR&D投資と経済効果の分析【FS】*
		④大学・研究独法と企業との間の知識移動に関する調査研究
		⑤ノウハウ・営業秘密が企業のイノベーション成果に与える影響に関する分析
(2) 政府R&D投資のマクロ経済的効果の分析	①政策研で開発したマクロ経済モデルの改良	
	②動学的一般均衡マクロモデルによる政府研究開発投資の経済的効果の分析・予測	
(3) 政府R&D投資の社会的効果(非経済的)を分析するための手法等の開発	①政府R&D投資等によりもたらされたイノベーションによる社会的効果の定量的指標の抽出と事例研究【FS】*	
(4) 総合的検討	①研究開発投資の経済的・社会的波及効果の分析に関する総合的検討	
	②諸外国における政府R&D投資の経済的・社会的波及効果に関する動向調査と分析	
2. 大震災対応	①専門家ネットワークアンケート	
	②国民意識調査	
	③その他	

*今年度においてはいくつかの事例と予備検討をFSとして実施する。その結果を踏まえて来年度に本格実施する。

2

データ・情報基盤整備の各課題

1. データ・情報基盤の全体システム設計及びデータ提供事業の推進	①データ・情報基盤の全体システム設計及びデータ提供事業の推進	
2. 政策研究のニーズに基づくデータ整備	(1) 中核データベースの構築	①公的研究開発システムにおける科学知識生産に関するデータ整備
		②産業におけるイノベーションに関するデータ整備
		③科学技術システムの状況の時系列観測の実施と応用
		④博士課程修了者の追跡システム・データベースの構築
	(2) 政策対応型調査研究を直接的に支援するためのデータ整備	①無形資産・生産性・政策に関するデータベース構築と成長会計分析
	②政府研究開発予算についての分野別・目的別予算データベースの構築	

3

助言委員会の開催

- 目的:「政策のための科学」事業において科学技術政策研究所が実施する、政策課題対応型調査研究及びデータ・情報基盤整備に関係する事項について有識者から助言をいただく
 - 年間3回程度開催
 - 第1回助言委員会 2011年7月25日(月)開催済
 - 第2回助言委員会は11月下旬開催予定

4

今後についての問題提起・論点の例①

○政策課題対応型調査研究について

- 国の投資は産業を通過して社会に出るのであまり見えない。それをどう捉えるかが重要である(直接的なもの、様々な財やサービスを高めるもの等)
- 国全体のR&D投資の中で7割を占める、民間のR&D投資の効果について考慮に入れるべきである
- 海外(EU, OECD, 米国, 中国など)との間で、連携が重要である。データの交換などを行い、国際的に比較可能な測定尺度を構築することが必要である
- 施策がどのような経済的・社会的効果を与えたのかについては検討しないのか

5

今後についての問題提起・論点の例②

○データ・情報基盤整備について

- データベースは組織や個人など様々なところに既にある。中間的な機関を介すことなく、個人とデータベースとの関係をつくれるようにすることが重要である(研究者が自発的にデータを入力するシステムの構築など)
- 今後、データを国際比較することを考慮し、基本計画の分野等の枠組みが変化しても、ライフやナノテクなどのデータが取れるようにできないだろうか

○全体について

- GDPの7割を占めるサービス産業のイノベーションについて捕捉することを検討しないのか
- 国内での省庁横断の連携をどう構築するのか

6

その他

- 政策課題対応型調査研究
 - 委託仕様書を作成中
- データ・情報基盤整備
 - 委託1件について業者提出の提案書を技術審査中(8月中に業者決定)
 - 委託2件について8月に入札公告、9月に業者決定予定

7